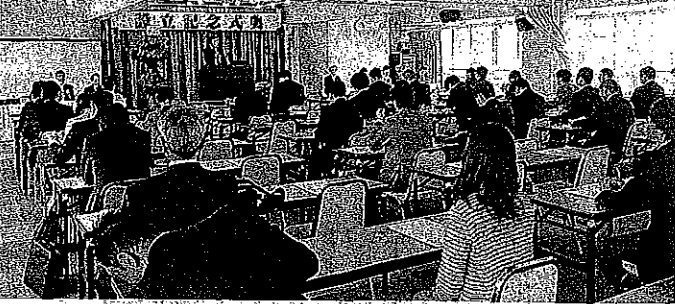


香川福祉事業協会が設立

介護の人材確保へ連携

76社加盟

県内で介護施設を運営する企業など76社が業界の活性化を目指すため、「一般社団法人香川県福祉事業協会」を設立した。高松市内のホテルで26日、記念式典があった。介護、事務用品などを共同購入して経営の効率化を図るほか、職員研修や求人も共同で行い、不足している人材確保に努める。同協会によると、介護事業者間の横断的な団体は全国的に珍しいという。



香川県福祉事業協会の設立を記念して行われた式典。高松市内のホテル

介護事業者が情報交換を、間で研修させたり、専門家を招いた講演会を定期開催する「サービス事業研究会」(2000年発足)が前身。新しい協会には、デイサービスセンターやサービス付き高齢者向け住宅などを運営する事業者だけでなく、介護用品のレンタル会社や建設会社なども加盟。本年度内に会員数100社を目指す。

今後、介護、事務用品などを共同で購入し、各社のコストを削減。会員間で割引を付けてサービスを紹介し合い、利用者の利便性を向上させる。業界で課題となっている人材の確保に向けては、職員を会員事業所



社長)は「皆さんのお力添えをいただきながら、香川の介護・福祉の発展のために努めたい」と述べた。



東京で表彰式。M&Aセンターの代表取締役社長(左)から、M&Aセンターの代表取締役社長(右)へ、M&A支援業務百十四銀が受賞した。

M&A支援業務百十四銀が受賞

東京で表彰式

M&A(企業の合併・買収)支援業務で顕著な実績を挙げた地方銀行を顕彰する「バンクオブサイヤ」の表彰式が26日、東京都内であり、百十四銀行(高松市)が行内体制の強化などを評価され「アクティベイトシヨウ賞」を受賞した。バンクオブサイヤは日本M&Aセンター(東京)が主催し、今回が4回目。同センターとの協働で前年度にM&Aで優れた事例を残すなどした提携行を表彰している。

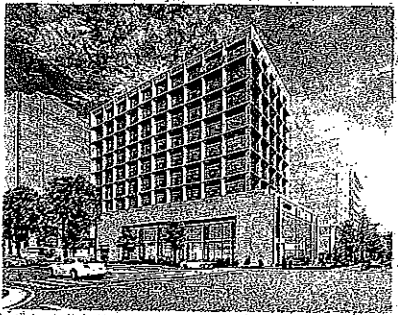
百十四銀行は昨春に「地域活性化室」を新設し、部署の増員と日本M&Aセンターへ出向者を初めて派遣

の強化を図るほか、十分な執務スペースを確保することで効率的な業務運営を目指す。2017年9月に着工し、19年10月に完成、営業を開始する予定。現在の本店ビルは1969年に完成。建設から47年が経過して老朽化が進んでいることに加え、本部業務の拡大で手狭になっていたことから、本店ビルを新築し、分散していた本部機能の集約も図る。新本店ビルは鉄骨造りと

表彰式で同センターの三宅卓社長からトロフィーを贈られた百十四銀行の伊丹修常務執行役員は「今回の受賞を機に、M&A支援業務は地域活性化に欠かせないものだということを行内で意識づけたい」と述べた。最高賞のバンクオブサイヤには北陸銀行(富山県)が選ばれた。

香川銀行本店ビルを新築へ

19年10月完成予定。香川銀行は26日、高松市亀井町の本店ビルを新築すると発表した。イメージシ



鉄骨鉄筋コンクリート造りの地上8階地下1階。延べ床面積は現在の約1.4倍の約9700平方メートルに拡大する。1、2階部分にはガラスを多用し、親しみやすく明るい雰囲気にする。17年1月から完成までの間、四国電力高松支店(6月に同市室新町に移転)が入居する高松電気ビル(同

- 1袋238円
- 1袋98円
- 1袋980円
- ▶フジッコ・フルーツセラピーホワイトピーチ、パレンシアオレンジ (160g) 各98円
- ▶ロッテ・コアラのマーチチョコ、イチゴ (50g) 各59円
- ▶ハモの天ぷら 100g当たり198円